

基礎力測定テストを用いた 教育効果の妥当性について

2012年7月28日

高知工科大学 マネジメント学部

教育講師 酒井 良二

自己紹介

酒井 良二



- 1948年 4月生れ 64歳
- 1971年 3月同志社大学商学部卒
- 1971年 4月株式会社クラレ
新規事業開発・研究開発総括・社長秘書
- 1994年10月へモネティクスジャパン株式会社
- 1998年10月Haemonetics Corporation 【米国本社】
Business Design & TQM Office
- 2001年10月へモネティクスジャパン株式会社代表取締役社長
Haemonetics Corporation執行役員
- 2009年 2月高知工科大学マネジメント学部教育講師
初年次教育・キャリア教育

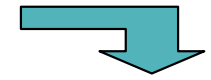
AGENDA

1. Why PROG Test?: PROGテストと高知工科大学
マネジメント学部のキャリア教育
2. Report (1): PROG テスト結果と初年次教育“Study
Skills”の成績評価・自己評価との相関分析
3. Report (2): PROGテスト結果と4年生の内定取得
状況の相関分析(キャリア教育の効果)
4. Reflections: まとめと今後の取り組み

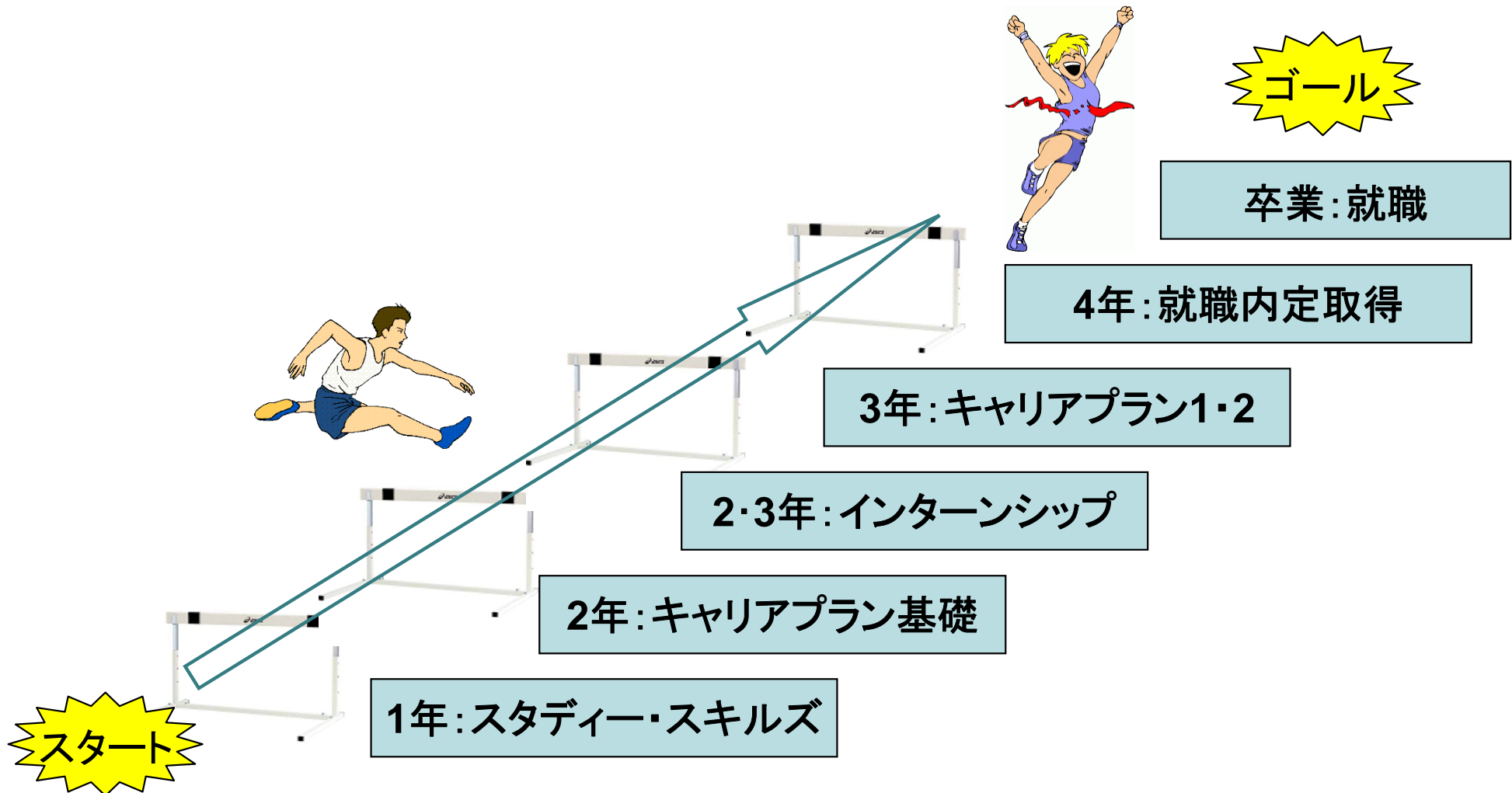
AGENDA

1. Why PROG Test?: PROGテストと高知工科大学
マネジメント学部のキャリア教育

キャリアプラン教育プログラム



キャリア教育は、望ましい職業観、職業に関する知識・技能を身につけるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育です



基礎力測定テストを用いた 教育効果の妥当性について

PROGテスト実施結果

1. 実施日:2011年12月21日&2012年1月25日
2. 受検者数:207名(受検率 63%)
1年生:78名(74%)、2年生76名(73%)、3年生:53名(46%)
3. 学生向け解説会:2012年2月1日・22日
4. 教職員向け報告会:2012年3月2日
5. マネジメント学部教員説明会:2012年3月22日

1. 初年次教育:Study Skills

2. キャリア教育:Career Plan

Study Skills

「KUT PRIDE 2013」 Page 062

社会・企業経験豊富な 人生の大先輩から学び方を学ぶ

社会・企業経験豊かな教育講師は4年間継続して学生を指導・支援する特別な存在。各学群・学部・分野ごとに学生を見守っています。専門教育の教員や大学職員とは異なる目線で学生のやる気を引き出し、人間力を高める高知工科大学独自の制度。高い就職率・卒業生の活躍の要因がここに！

酒井良二 教育講師

キーワード：スタディスキルズ、キャリアデザイン



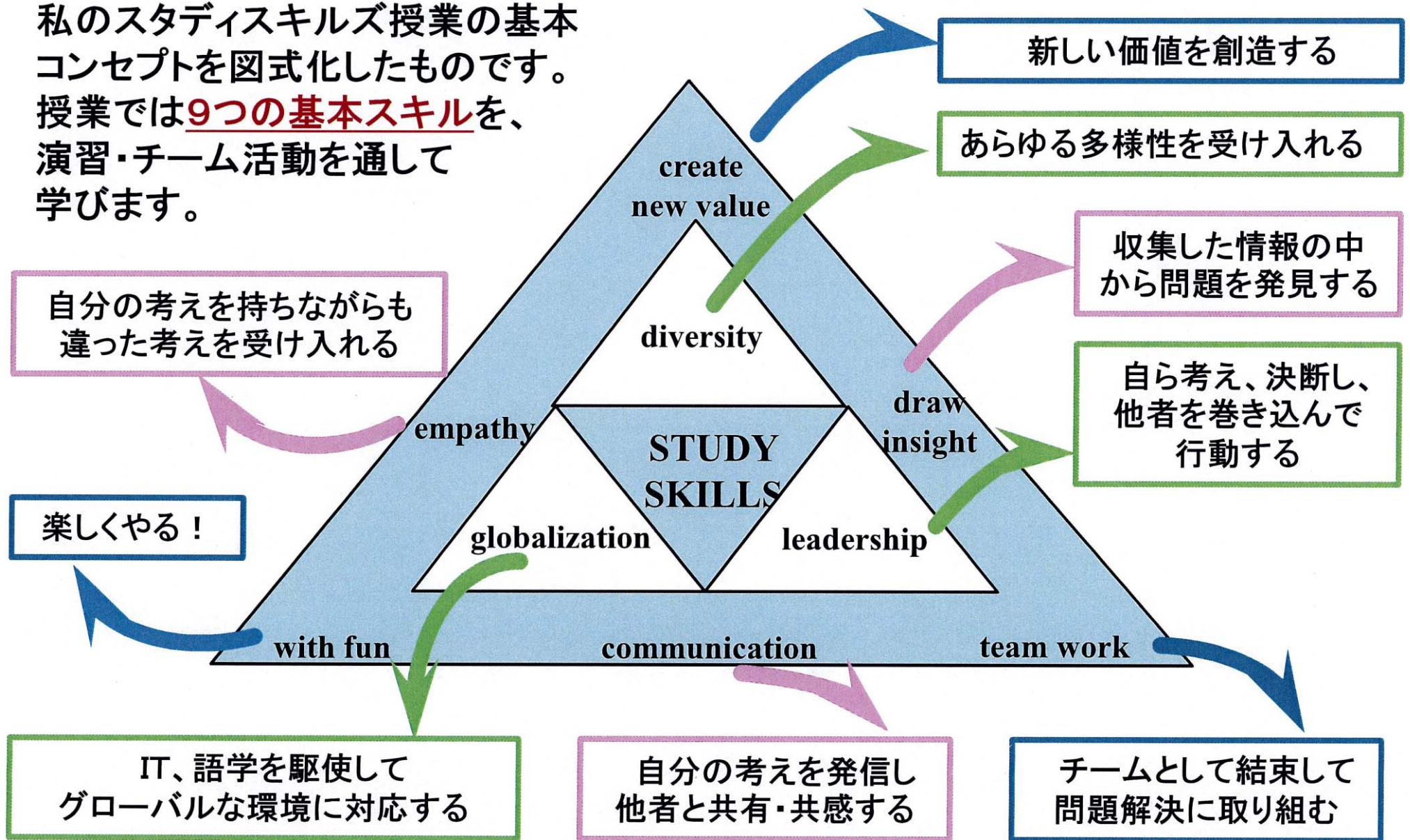
1. 授業の目指すゴール

大学において主体的に学ぶために必要な9つの基本スキルを習得し、「グローバルな環境で活躍できる個性豊かな人づくり」を目指します。

- 自ら情報を収集し、変化の中から問題の所在をみつける発見力。
- 発見した問題を独創的に解決し、新しい価値を生み出す創造力。
- 自分の考えを発信し、他者と共有・共感するコミュニケーション力。

授業の基本コンセプト

私のスタディスキルズ授業の基本コンセプトを図式化したものです。授業では9つの基本スキルを、演習・チーム活動を通して学びます。



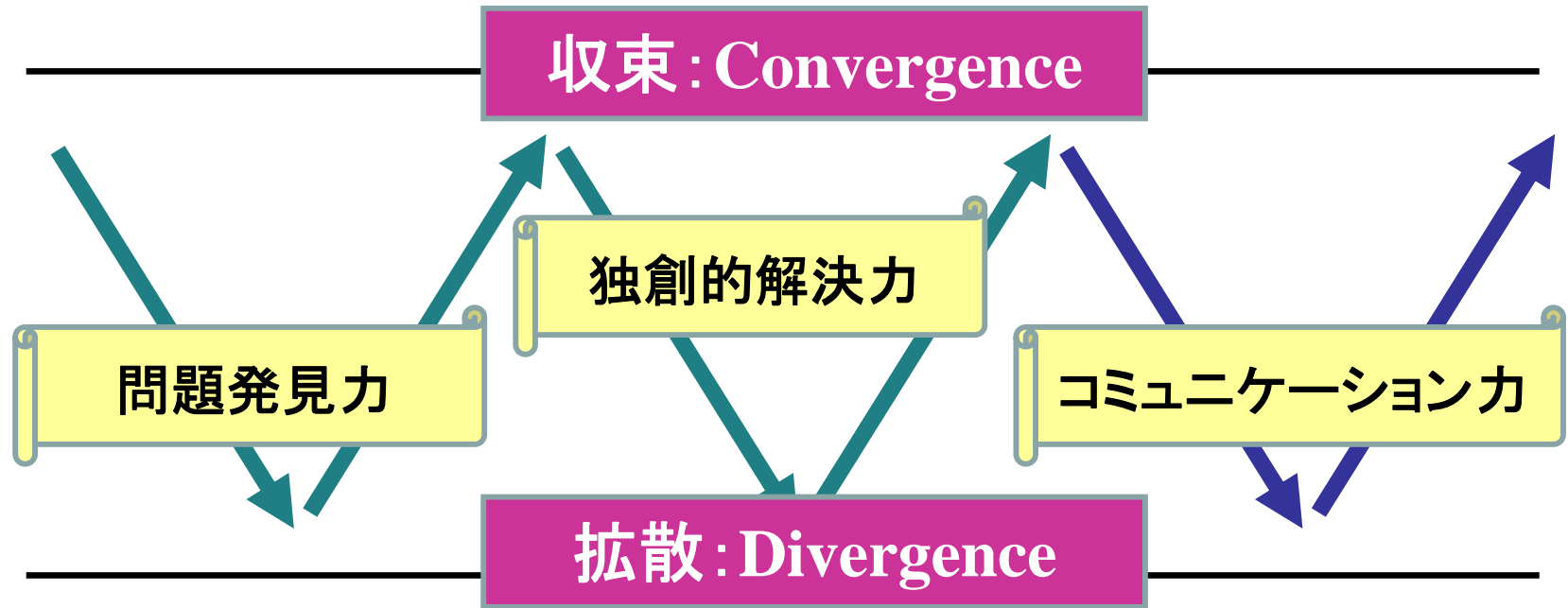
Problem Solving WV Model



仮説 → 実行・確認、の繰り返し

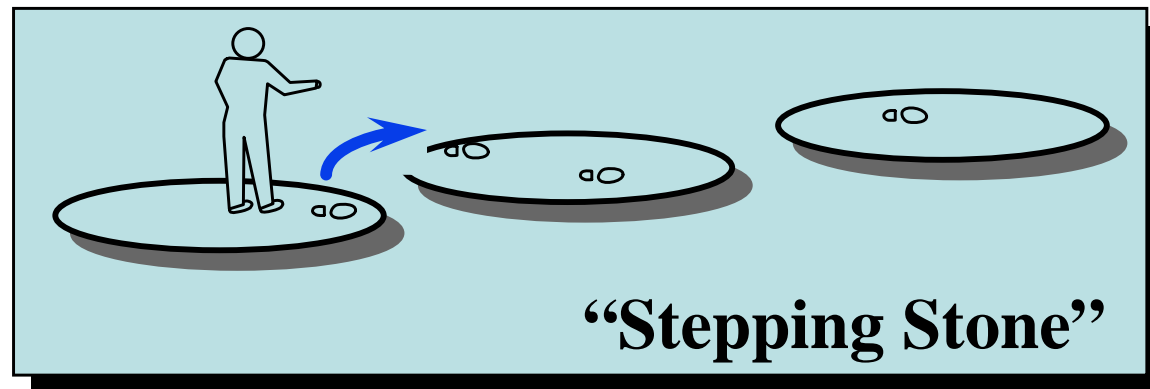
仮説：
考えるレベル

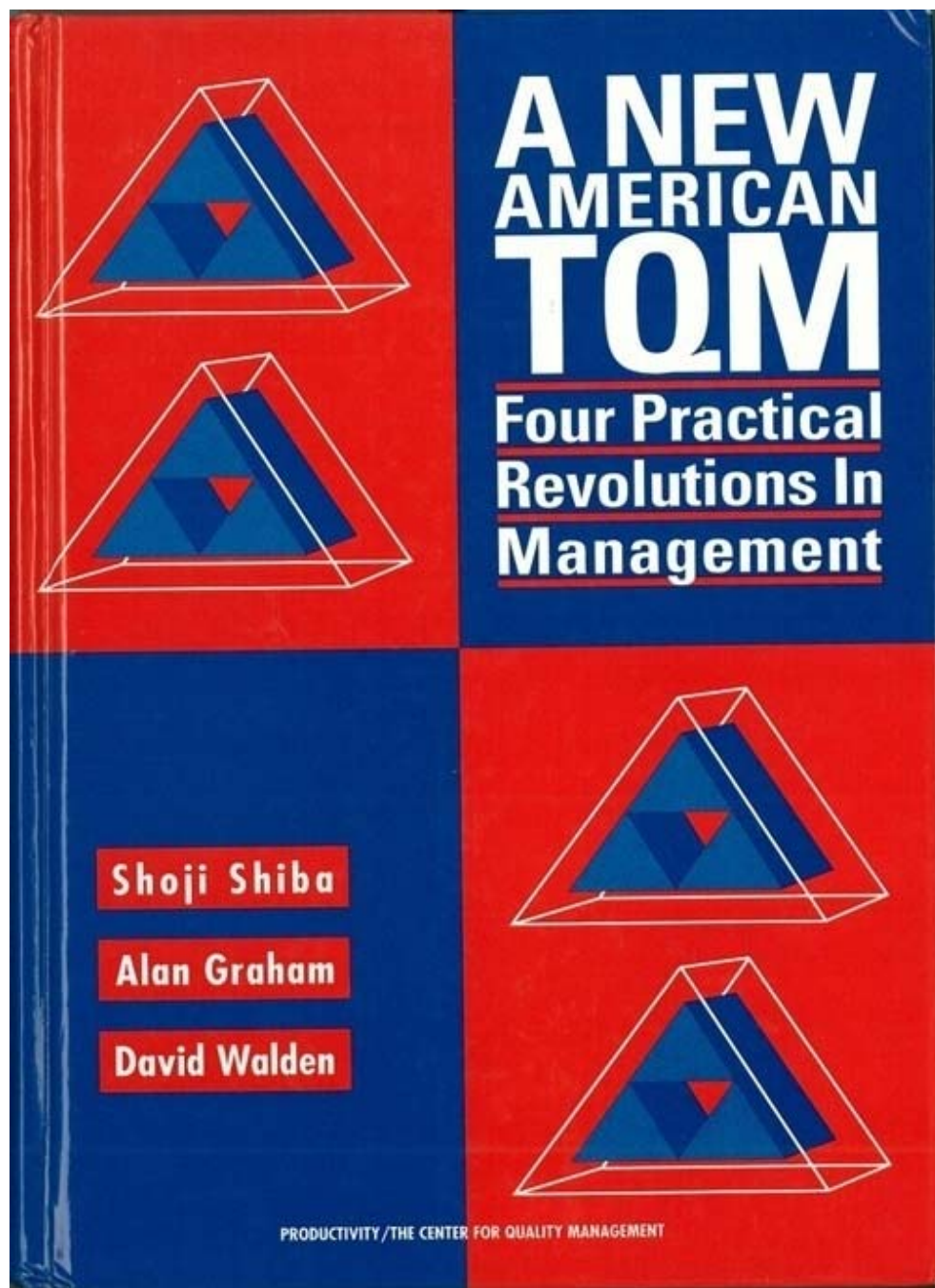
アイデア



実行・確認：
経験するレベル

事実・データ





TQM: Total Quality of Management

empathy & with fun

Kooshball

クッシュボール

Good & New



最近24時間以内に起こった
何か良い出来事を発表する

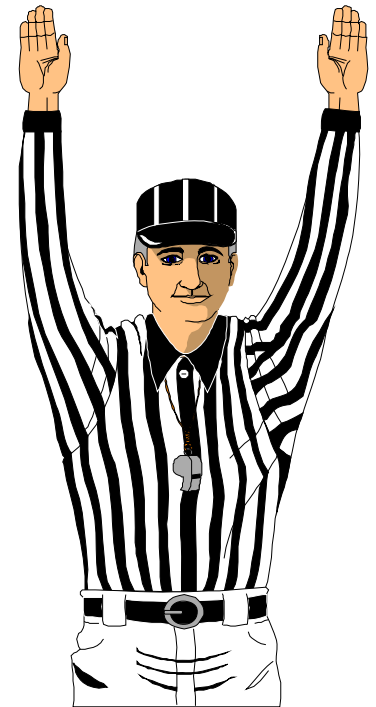
発表が終わったら全員で拍手

巧遅は拙速に如かず

Quick Response

diversity

みんなでのこのクラスの
ルールを決めよう！



他の人とは異なる意見を言う

“異見”

Round Robin

このクラスのルールを決めよう

- 朝ご飯を食べて出席する
- 他の人が発表している時は私語をしない
- 発表する時は大きな声ではきはきと発表する
- 協力して授業を盛り上げる
- 分からないことがあったら、相談、質問する
- 他の人の発表を真剣に聴く
- 一日一善
- 目を見て話す
- 授業をさぼらない

- 発表する時は俯かない
- なるべく分かりやすい内容にしてから発表する
- 素ツピンで来ない
- 授業に遅刻しない
- 授業中に居眠りしない
- 出来るだけ笑顔でいる
- 前を見て発表する
- 教室に入ったら挨拶をする

Net Touch

マネジメント1班 4月23日

テーマ: このクラスのルールを決めよう

身だしなみなどのマナーを守って、楽しい授業にする	特別な理由がない限り、授業中に飲食をしない	授業には集中して、やる気を持って、出席する	携帯電話は電源を切って授業中には使用しない	自分の意見をしっかり持って大きな声で「話し」する	課題は期限を守って出す	
身だしなみをきちんとする	理由がないかぎり、飲食厳禁!!	やる気を持ってくる	授業中、携帯電話を使用しない	授業中にMailをしない!! ツイッターも	自分の意見をしっかりと持つ	宿題を忘れない
授業を楽しむ	物を食べない	ないしょくしない	授業中に携帯をいじらない	授業中、ケータイつつかない	語らずに、ちゃんと「話し」をしよう	宿題をちゃんとやる
	飲食をしない		携帯をいじらない	携帯をマナーモードにする	みんなに聞こえるような声で発表する	課題を忘れない
				ケータイをマナーモードにする		課題をする

グラントルール(マネジメント1班)

1. 朝ご飯を食べて体調管理をして、授業には遅刻をしないように、やる気を持って出席する。
2. 身だしなみなどのマナーを守って、挨拶を励行し、いつも笑顔で、みんなで協力して授業を盛り上げる。
3. 授業やチーム活動には、毎回発言などで貢献する。
4. 携帯電話は電源を切って、授業中は使用しない。
5. 居眠り、内職、特別な理由がない限り飲食はしないで、授業に集中する。
6. 人が発表している時は、私語をしないでしっかりと聞く。
7. 分からないことがあったら、相談・質問する。
8. 自分の意見をしっかり持って、分かりやすく、大きな声で、前を見て発言する。
9. 課題宿題は期限を守って必ず提出する。

AGENDA

2. Report (1): PROG テスト結果と初年次教育“Study Skills”の成績評価・自己評価との相関分析

Student Self-Assessment Rubrics

主体的に学ぶスキル

- 1.書く力
- 2.調査・要約する力
- 3.他者理解・自己表現力
- 4.問題発見力
- 5.課題解決力

社会人として生き抜くスキル

- 6.自己の立場の理解
- 7.自己をコントロールする力
- 8.社会理解と自立心
- 9.挑戦する力
- 10.プレゼンテーション

5段階評価

- 1.ほとんどできない
- 2.あまりできない
- 3.標準レベルである
(大学新入生の平均レベル)
- 4.標準以上にできる
- 5.よくできる

3回実施

- 1.初回授業時(4月上旬)
- 2.Q1終了時(6月上旬)
- 3.Q2終了時(8月上旬)

SS内自己評価とPROGの相関

8月の最終的な自己評価とのコンピテンシーの相関は比較的高い
 →授業の効果を感じている学生のPROGは高い→授業成果有り

1%有意 5%有意

		リテラシー					コンピテンシー(中分類)											コンピテンシー(大分類)		
		問題解決力 リテラシー 総合	情報 収集 力	情報 分析 力	課題 発見 力	構想 力	情報 収集 力	情報 分析 力	課題 発見 力	構想 力	親和 力	協働 力	統率 力	感情 制御 力	自信 創出 力	行動 持続 力	実行 力(実 践力)	問題 解決 力	コミュ ニケー ション マネジ メント 力	自己 管理 力
8月 測定	書く力	0.07	0.10	-0.05	-0.01	0.21	0.31	0.34	0.41	0.32	0.14	0.28	0.30	0.34	0.39	0.30	0.39	0.45	0.29	0.43
	調査・要約する力	0.08	0.15	0.00	-0.13	0.16	0.24	0.32	0.40	0.26	0.06	0.19	0.33	0.25	0.36	0.17	0.25	0.40	0.24	0.32
	他者理解・自己表現力	-0.18	-0.04	-0.17	-0.09	0.00	0.18	0.05	0.17	0.10	0.22	0.24	0.25	0.21	0.30	0.00	0.17	0.16	0.28	0.22
	問題発見力	0.18	0.14	0.02	0.08	0.23	0.24	0.30	0.38	0.15	0.05	0.11	0.25	0.14	0.31	0.09	0.11	0.35	0.17	0.20
	課題解決力	0.00	0.00	-0.18	0.00	0.19	0.17	0.32	0.37	0.34	0.27	0.34	0.47	0.42	0.46	0.29	0.39	0.38	0.42	0.48
	自己の立場の理解	-0.18	-0.16	-0.18	0.06	0.01	0.15	0.07	0.22	0.00	0.17	0.22	0.20	0.00	0.29	0.08	0.10	0.14	0.24	0.15
	自己コントロール力	-0.11	0.09	-0.28	-0.13	0.10	0.19	0.29	0.22	0.24	0.35	0.28	0.25	0.42	0.43	0.39	0.42	0.31	0.34	0.50
	社会理解と自立心	-0.02	0.10	-0.24	0.04	0.15	0.26	0.31	0.44	0.32	0.21	0.30	0.34	0.32	0.48	0.28	0.40	0.43	0.33	0.46
	挑戦する力	-0.12	-0.03	-0.29	-0.06	0.07	0.08	0.11	0.30	0.21	0.38	0.42	0.43	0.33	0.49	0.36	0.40	0.23	0.48	0.48
	プレゼンテーション力	0.01	0.09	-0.19	-0.05	0.09	0.14	0.22	0.41	0.28	0.14	0.29	0.43	0.36	0.46	0.17	0.34	0.34	0.34	0.41
学科	-0.03	0.06	-0.18	-0.05	0.13	0.25	0.29	0.40	0.28	0.24	0.33	0.40	0.35	0.50	0.27	0.36	0.39	0.38	0.46	
4-8 月の 変化 量	書く力	-0.02	0.03	-0.18	0.02	0.05	0.11	-0.01	0.16	0.08	0.23	0.24	0.17	0.19	0.22	0.22	0.23	0.12	0.25	0.25
	調査・要約する力	-0.13	0.09	0.04	-0.16	-0.08	0.12	0.04	0.03	0.10	0.16	0.18	0.12	0.10	0.06	0.10	0.09	0.09	0.19	0.11
	他者理解・自己表現力	0.07	0.16	0.06	0.14	0.08	0.05	-0.18	0.01	-0.14	0.07	-0.07	-0.05	0.03	0.04	-0.13	-0.11	-0.08	-0.02	-0.04
	問題発見力	0.16	0.16	-0.02	0.33	0.11	0.01	-0.11	0.08	-0.09	0.08	0.02	-0.05	-0.10	0.01	-0.02	-0.11	-0.03	0.02	-0.06
	課題解決力	-0.02	0.01	-0.21	0.03	0.03	-0.09	-0.06	0.08	-0.07	0.20	0.12	0.13	0.09	0.11	0.09	0.09	-0.03	0.18	0.12
	自己の立場の理解	-0.06	0.00	-0.02	0.12	-0.04	-0.14	-0.16	0.04	-0.16	0.13	-0.02	0.12	-0.10	0.08	-0.05	-0.05	-0.12	0.11	-0.02
	自己コントロール力	0.15	0.11	0.03	-0.02	0.07	0.00	0.07	0.02	0.03	0.16	0.02	0.04	0.15	0.17	0.06	0.07	0.06	0.10	0.14
	社会理解と自立心	0.09	0.06	-0.11	0.10	0.09	0.00	0.01	-0.01	0.11	0.11	0.00	-0.03	-0.02	0.17	0.09	0.01	0.04	0.04	0.09
	挑戦する力	0.16	0.15	0.04	0.09	0.01	0.01	0.01	0.15	0.07	0.18	0.18	0.14	0.01	0.17	0.07	0.17	0.09	0.19	0.13
	プレゼンテーション力	-0.01	0.18	-0.30	-0.03	-0.07	-0.06	-0.10	0.14	0.07	0.09	0.14	0.08	0.11	0.22	0.11	0.18	0.03	0.13	0.19
学科	0.05	0.14	-0.09	0.07	0.01	-0.01	-0.08	0.09	-0.02	0.20	0.11	0.08	0.05	0.18	0.08	0.07	0.00	0.17	0.13	
6-8 月の 変化 量	書く力	0.13	0.04	-0.05	0.09	0.07	0.17	0.07	0.24	0.16	0.21	0.23	0.23	0.16	0.19	0.16	0.27	0.22	0.27	0.23
	調査・要約する力	-0.03	0.15	0.02	-0.19	-0.07	0.10	0.16	0.08	0.12	0.07	0.10	0.14	0.12	0.05	0.15	0.06	0.14	0.12	0.11
	他者理解・自己表現力	0.05	0.16	0.07	0.05	-0.02	0.04	-0.03	0.05	-0.17	-0.03	-0.01	0.03	0.08	0.14	-0.11	-0.03	-0.02	0.01	0.02
	問題発見力	0.03	0.12	-0.06	0.07	0.03	0.22	0.07	0.10	-0.04	0.05	0.05	0.05	-0.03	0.05	0.01	0.02	0.12	0.06	0.03
	課題解決力	0.04	0.07	-0.12	0.06	0.06	0.03	-0.01	0.13	-0.01	0.20	0.21	0.14	0.13	0.10	0.08	0.20	0.05	0.20	0.16
	自己の立場の理解	0.04	0.01	0.10	0.13	0.13	0.15	-0.02	0.16	-0.14	-0.04	-0.06	-0.07	0.00	0.08	-0.07	-0.01	0.07	-0.05	0.01
	自己コントロール力	0.15	0.23	-0.01	0.07	0.07	0.03	0.10	0.05	-0.13	-0.05	-0.10	-0.07	0.07	0.10	-0.09	-0.05	0.04	-0.07	0.03
	社会理解と自立心	0.16	0.31	0.03	-0.01	0.10	0.20	0.23	0.14	0.09	-0.04	-0.05	-0.02	0.06	0.17	-0.02	0.00	0.22	-0.05	0.07
	挑戦する力	0.15	0.14	0.09	0.03	0.04	0.07	0.11	0.08	-0.06	0.01	0.07	-0.08	0.01	0.04	-0.07	0.01	0.07	0.00	0.00
	プレゼンテーション力	-0.17	0.14	-0.22	-0.09	-0.19	0.11	-0.01	0.15	0.12	0.07	0.23	0.15	0.15	0.20	0.02	0.16	0.11	0.19	0.16
学科	0.08	0.22	0.00	0.01	0.00	0.19	0.11	0.17	-0.03	0.05	0.10	0.06	0.11	0.18	0.01	0.08	0.15	0.09	0.12	

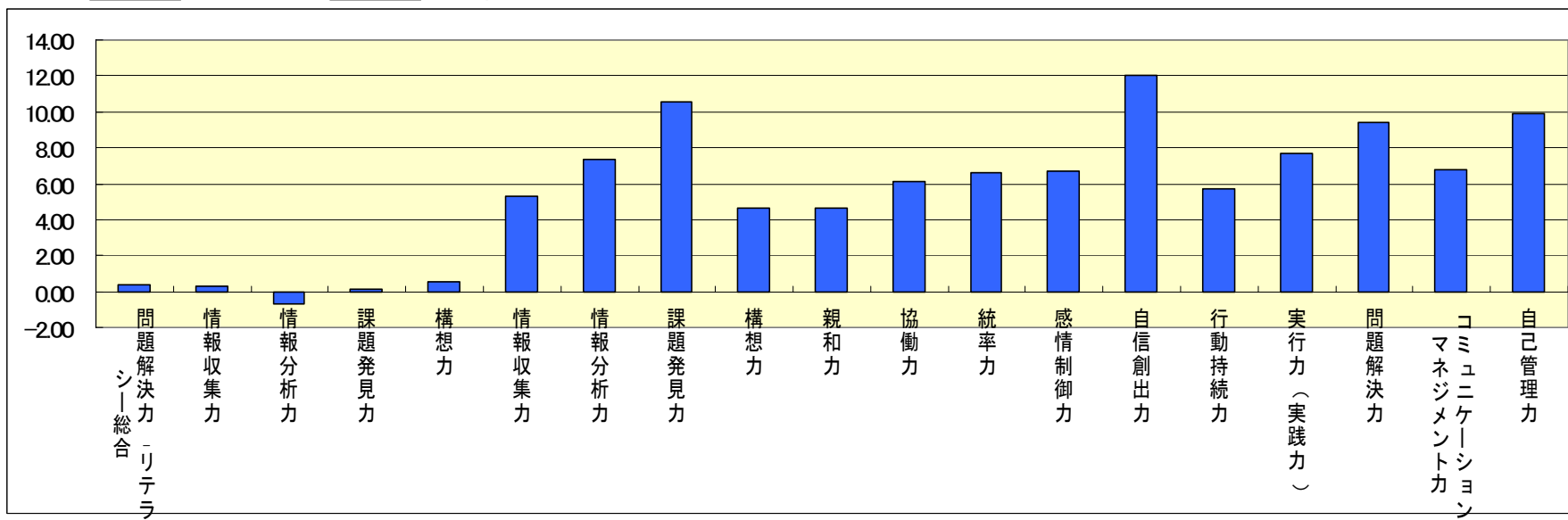
SS8月時点自己評価上位者と下位者の平均値の差の検定

8月の最終的な自己評価の上位者(20名)と下位者(20名)のPROGのスコアの差をみたもの
 →コンピテンシーにおいて何れの尺度も上位者の方が高い→特に、「課題発見」「構想」「協働」「統率」「感情制御」「自信創出」「実行」の尺度の差が大きい →授業成果の表れ

	リテラー					コンピテンシー(中分類)												コンピテンシー(大分類)		
	問題解決力 リテラー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	実行力(実践力)	問題解決力	コミュニケーション マネジメント力	自己管理能力	
<8月の自己評価>																				
○上側20名 平均	4.15	2.70	1.85	2.90	2.90	51.04	51.19	54.21	50.95	52.75	51.96	49.62	52.76	53.16	50.57	52.71	52.64	51.81	52.92	
○上側20名 標準偏差	1.31	0.95	0.96	0.89	1.04	9.49	8.74	5.89	5.78	6.71	6.12	7.78	6.76	8.14	9.19	6.53	7.49	6.62	7.12	
▲下側20名 平均	3.80	2.40	2.50	2.80	2.35	45.72	43.82	43.66	46.28	48.11	45.85	42.99	46.07	41.15	44.85	45.03	43.22	45.00	43.00	
▲下側20名 標準偏差	1.44	1.02	1.16	0.87	1.01	11.76	14.30	10.90	8.09	8.63	10.85	8.65	8.11	10.89	8.64	9.29	12.32	8.97	8.93	
○平均-▲平均	0.35	0.30	-0.65	0.10	0.55	5.32	7.37	10.55	4.67	4.64	6.11	6.63	6.69	12.01	5.72	7.68	9.43	6.81	9.91	
上側 下側の平均値の差の検定	0.4379	0.3550	0.0682	0.7282	0.1077	0.1332	0.0627	0.0007	0.0473	0.0720	0.0391	0.0175	0.0088	0.0004	0.0552	0.0054	0.0070	0.0113	0.0005	

※両側、等分散を仮定した検定

1%有意 5%有意



その他SS関連分析(SS成績とPROGの相関)

SSの成績(素点)とPROG各尺度の相関

→コミュニケーションと自己管理の領域における相関が比較的高い

→成績の付け方【出席:15点、宿題:30点、プレゼンテーション:20点
レポート:20点、意欲的な姿勢:15点】の表れ

	リテラー					コンピテンシー(中分類)												コンピテンシー(大分類)		
	問題 解決力 リテ ラー 総 合	情報 収集 力	情報 分析 力	課題 発見 力	構想 力	情報 収集 力	情報 分析 力	課題 発見 力	構想 力	親和 力	協働 力	統率 力	感情 制御 力	自信 創出 力	行動 持続 力	実行 力(実 践力)	問題 解決 力	コミュ ニケー ション マネジ メント 力	自己 管理 力	
SS成績(素点) との相関係数	0.059	0.118	-0.11	0.01	0.172	0.054	-0.02	0.18	0.178	0.304	0.248	0.193	0.103	0.342	0.269	0.309	0.126	0.291	0.334	

■ 1%有意 ■ 5%有意

その他SS関連分析

8回目の自己評価と
授業成績(素点)の相関
→若干の相関有り

SSの自己評価と成績の 相関係数
0.208

PROG受験者(78名)と非受験者(28名)の
授業成績(素点)の平均値の差の検定
→PROG受験者の方が有意に成績が良い

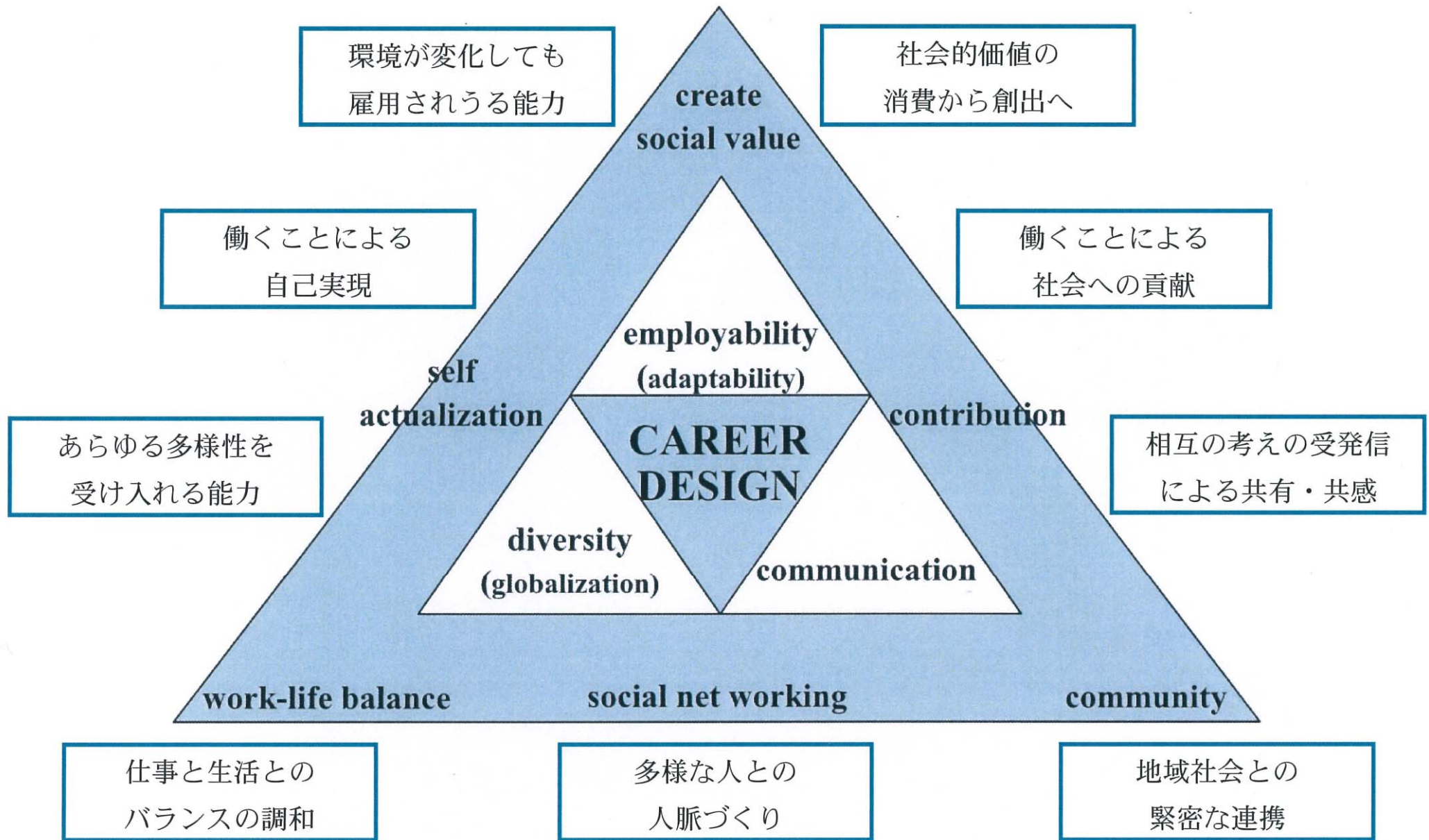
	SS成績(素点)
○PROG受験者 平均	81.81
○PROG受験者 標準偏差	8.05
▲PROG非受験者 平均	72.64
▲PROG非受験者 標準偏差	13.16
○平均-▲平均	9.16
平均値の差の検定	4.444034E-05

※両側検定、等分散を仮定

AGENDA

3. Report (2): PROGテスト結果と4年生の内定取得状況の相関分析(キャリア教育の効果)

9 Core Competencies



PROG Test vs. 内定率 基礎数字

① 4年生在籍者数:	115	
② PROG受検者数	53	46.1%
③ 内定取得者数	67	58.3%
④ PROG受検者内定数	36	67.9%
⑤ PROG非受検者内定数	31	50.0%

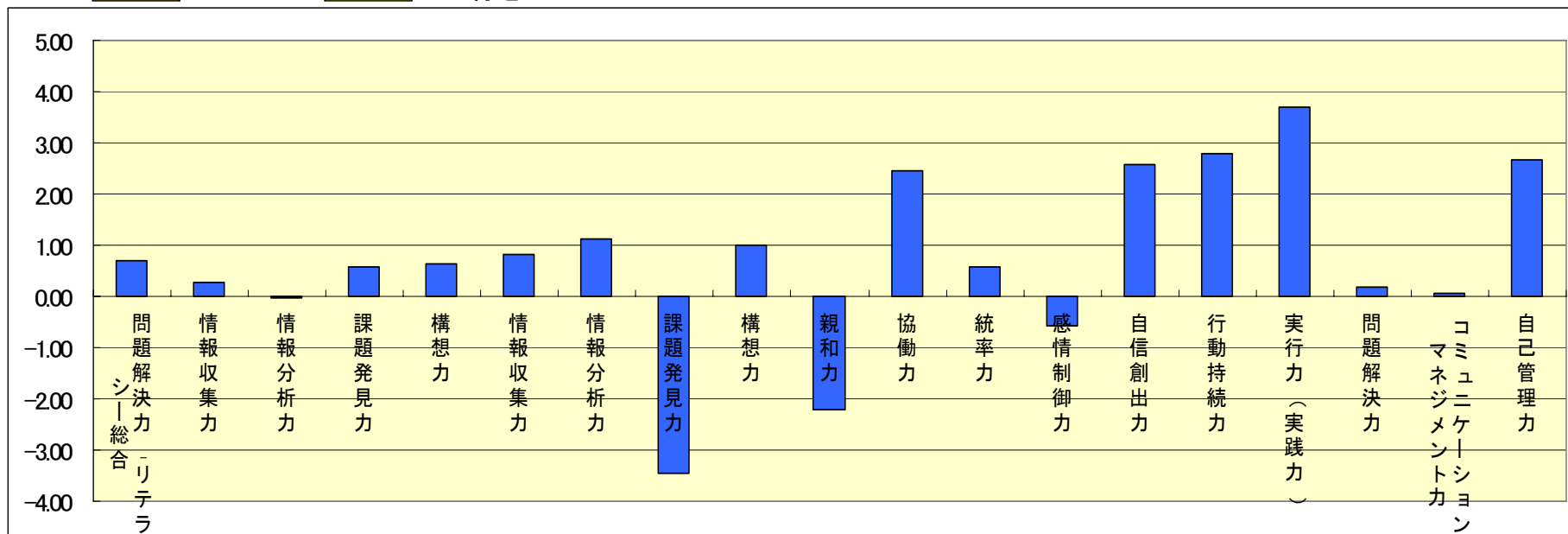
4月24日時点の内定者・未内定者のPROGの差

コンピテンシーの「課題発見」「親和」「感情制御」を除いては、(有意ではないが)各尺度とも早期内定者の方が、押しなべてスコアが高い。

	リテラシー					コンピテンシー(中分類)											コンピテンシー(大分類)		
	問題解決力 リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	親和力	協働能力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	実行力 (実践力)	問題解決力	コミュニケーション マネジメント力	自己管理能力
○4月24日内定 平均	4.85	3.00	2.77	2.92	3.00	49.10	51.39	45.88	48.32	47.64	51.49	51.07	49.20	51.10	49.89	51.25	48.59	50.02	50.55
○4月24日内定 標準偏差	1.17	0.88	0.89	0.92	0.78	8.11	8.00	10.98	12.75	7.61	6.13	8.07	8.95	6.32	7.15	7.75	11.47	6.51	6.35
▲未内定 平均	4.14	2.71	2.80	2.34	2.37	48.27	50.27	49.34	47.33	49.85	49.05	50.50	49.77	48.54	47.10	47.54	48.40	49.94	47.89
▲未内定 標準偏差	1.78	1.03	1.09	0.92	1.04	11.20	10.17	9.43	10.06	8.73	7.77	8.80	7.91	10.17	9.58	8.09	10.99	7.89	9.08
○平均-▲平均	0.70	0.29	-0.03	0.58	0.63	0.83	1.12	-3.46	0.99	-2.21	2.44	0.58	-0.58	2.56	2.79	3.71	0.19	0.07	2.66
平均値の差の検定	0.2007	0.3894	0.9293	0.0642	0.0596	0.8118	0.7279	0.2968	0.7840	0.4344	0.3222	0.8410	0.8335	0.4097	0.3542	0.1690	0.9581	0.9767	0.3459

※両側検定、等分散を仮定

1%有意 5%有意



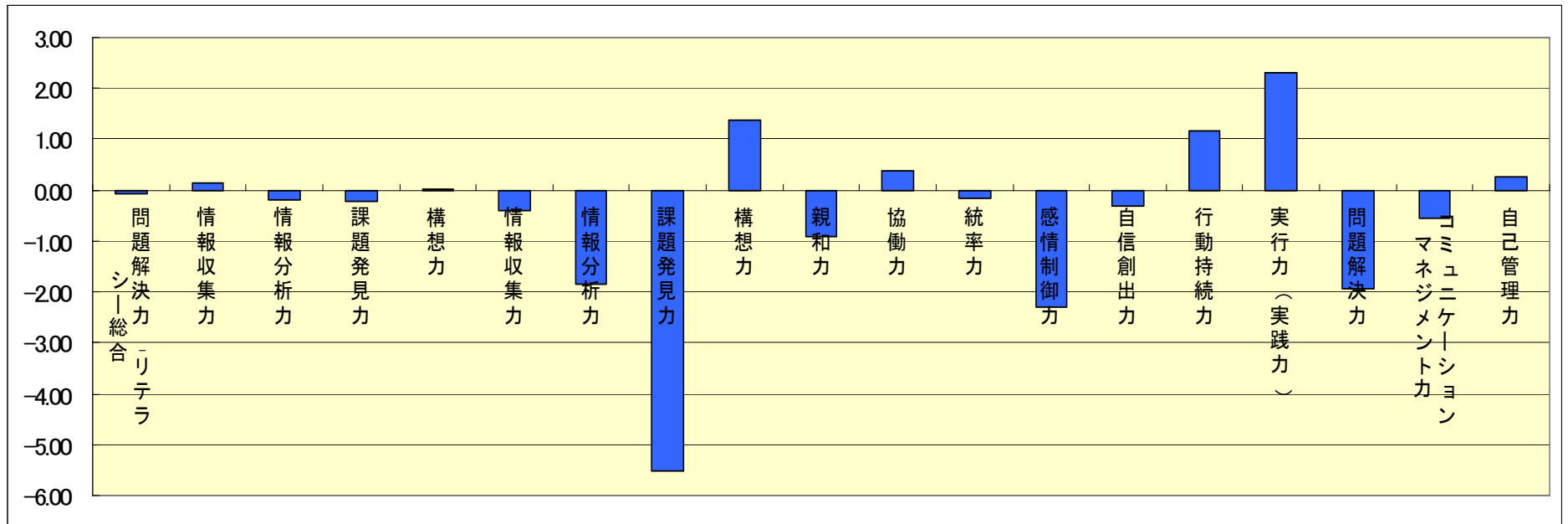
6月20日時点の内定者・未内定者のPROGの差

6月20日時点になると、内定者、未内定者のスコアに、明確な特徴が見られなくなる
→未内定者のより詳細な属性分析が必要

	リテラー					コンピテンシー(中分類)											コンピテンシー(大分類)		
	問題解決力 リテラー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	実行力(実践力)	問題解決力	コミュニケーションマネジメント力	自己管理能力
○6月20日内定 平均	4.30	2.85	2.70	2.41	2.56	48.32	49.77	45.98	48.20	48.85	49.88	50.58	48.61	49.10	48.36	49.56	47.61	49.73	48.72
○6月20日内定 標準偏差	1.63	0.89	0.97	1.03	1.03	10.66	10.13	10.37	11.08	8.19	7.20	8.48	8.93	8.96	7.43	8.06	12.26	7.16	8.36
▲未内定 平均	4.38	2.71	2.90	2.62	2.52	48.73	51.61	51.51	46.82	49.77	49.49	50.74	50.92	49.41	47.20	47.24	49.54	50.27	48.47
▲未内定 標準偏差	1.70	1.12	1.11	0.84	1.01	10.19	8.89	8.54	10.53	8.85	7.74	8.78	6.98	9.84	10.80	8.12	9.35	7.99	8.70
○平均-▲平均	-0.08	0.14	-0.20	-0.21	0.03	-0.42	-1.84	-5.53	1.38	-0.92	0.39	-0.16	-2.31	-0.31	1.15	2.32	-1.93	-0.54	0.25
平均値の差の検定	0.8647	0.6446	0.5167	0.4581	0.9170	0.8942	0.5233	0.0592	0.6712	0.7154	0.8625	0.9494	0.3438	0.9124	0.6709	0.3402	0.5613	0.8101	0.9206

※両側検定、等分散を仮定

1%有意 5%有意



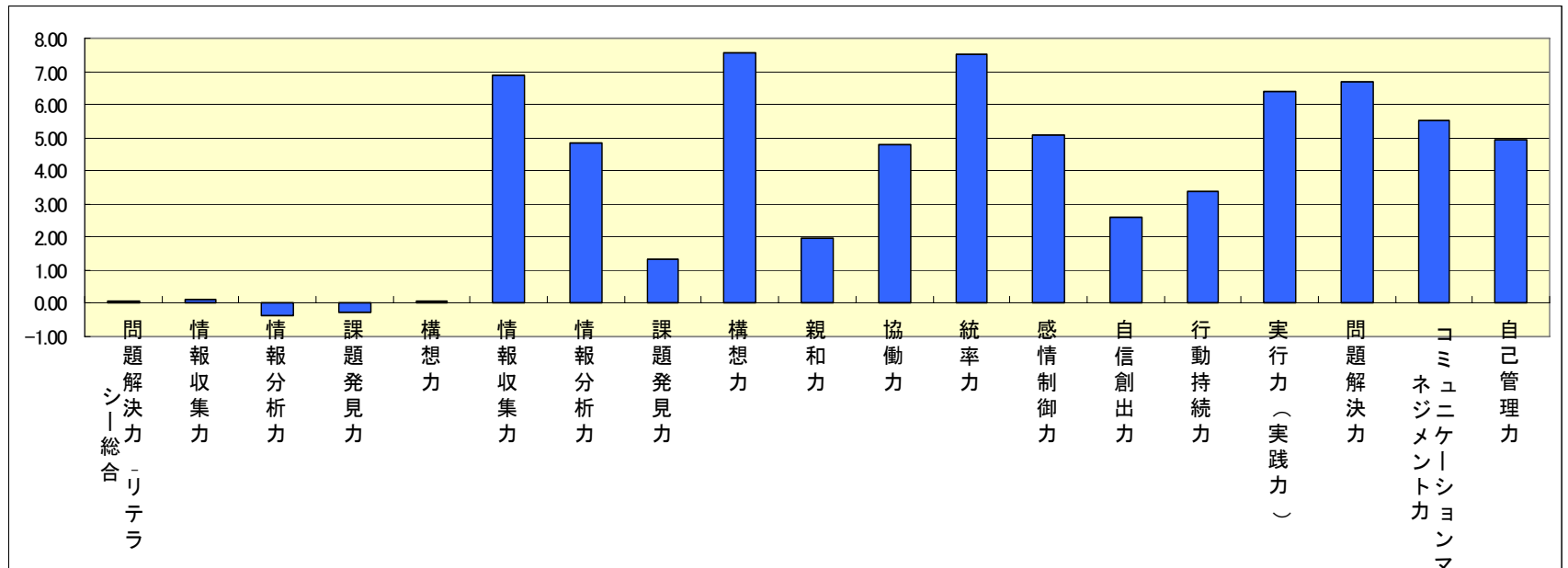
6月20日時点の内定者の企業規模等によるPROGの差

6月20日時点内定者における大手等(規模800名以上+金融+大手関連)企業内定者と、それ以外内定者のPROGスコアの差→(有意ではないが)大手等内定者の方が、各コンピテンシーのスコアが明らかに高い

6月20日時点の内	リテラシー					コンピテンシー(中分類)											コンピテンシー(大分類)		
	問題解決力 リテラシー 総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	実行力(実践力)	問題解決力	コミュニケーション マネジメント力	自己管理能力
○規模800名以上+金融+大手関連 平均	4.33	2.92	2.50	2.25	2.58	52.14	52.46	46.71	52.39	49.93	52.52	54.74	51.44	50.55	50.24	53.10	51.33	52.80	51.48
○規模800名以上+金融+大手関連 標準偏差	1.37	0.64	0.96	0.83	0.95	9.45	8.00	10.39	7.18	10.00	7.49	5.86	9.81	9.22	6.34	7.14	10.52	7.16	8.96
▲上記大手等以外内定者 平均	4.27	2.80	2.87	2.53	2.53	45.26	47.62	45.40	44.85	47.98	47.76	47.25	46.34	47.94	46.85	46.72	44.63	47.27	46.52
▲上記大手等以外内定者 標準偏差	1.81	1.05	0.96	1.15	1.09	10.58	11.09	10.32	12.43	6.24	6.20	8.77	7.41	8.56	7.87	7.62	12.73	6.15	7.12
○平均-▲平均	0.07	0.12	-0.37	-0.28	0.05	6.88	4.84	1.31	7.54	1.96	4.77	7.49	5.10	2.62	3.39	6.38	6.70	5.54	4.96
平均値の差の検定	0.9198	0.7470	0.3503	0.4956	0.9050	0.1027	0.2334	0.7549	0.0846	0.5554	0.0941	0.0219	0.1513	0.4701	0.2557	0.0424	0.1706	0.0480	0.1360

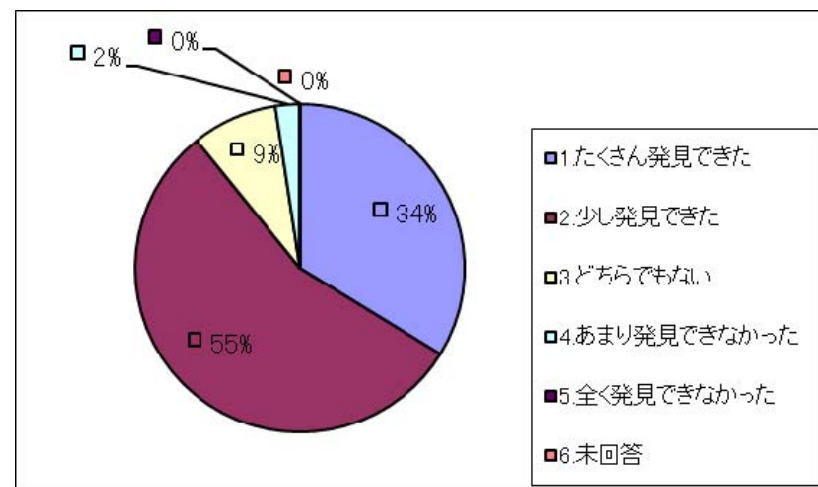
※両側検定、等分散を仮定

1%有意 5%有意

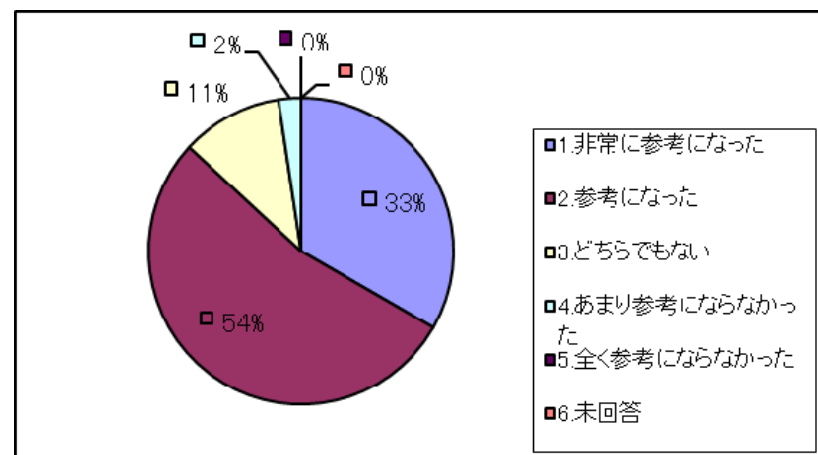


解説セミナーのアンケート結果

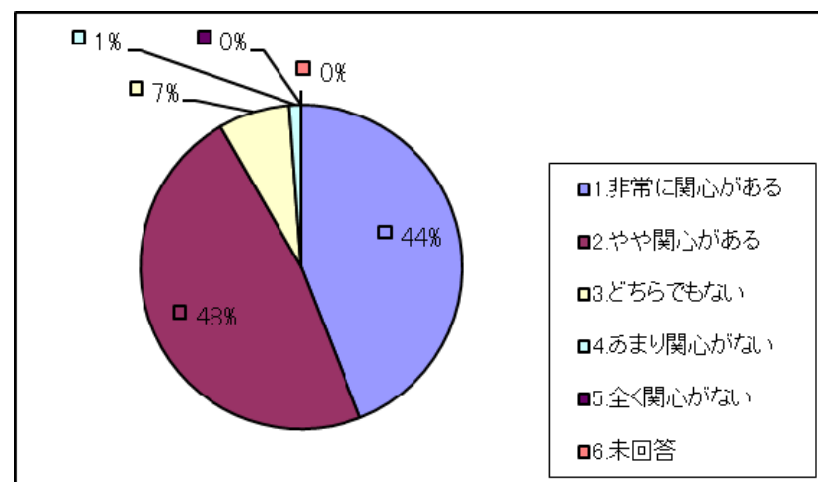
これまで気がついていなかった「強み」と「弱み」について、新たな自己発見がありましたか？



【「基礎力」測定テスト個人レポート】は、目標達成のステップ作りの参考になりましたか？



あなたはご自分の「基礎力」を1年後にどの位高めることができたのかに関心がありますか？



AGENDA

4. Reflections: まとめと今後の取り組み

Reflections (1)

1. PROGテストのCompetenciesと、Study Skills (SS) の成績評価との相関は比較的高い。
2. 同様に、SSの自己評価との相関も比較的高い。1年生前期だけではなく、2・3年時の実施も検討したい。
3. 早期内定者の方が、PROGテストのCompetenciesスコアが高い。但し、中期には明確な差が見られなくなる。
4. 同様に、大手企業内定者の方が、Competenciesスコアが高い。
5. PROG受検者の方が非受検者と比べて、SSの成績評価が高く、内定取得率も高い。
6. 自己発見、目標達成に向けたステップづくり、基礎力アップの確認などにおいて、PROGテストに対する学生の関心・期待は高い。

Reflections (2)

基礎力測定テストを用いた 教育効果の妥当性について



1. PROGテストは教員・学生の双方に、学習の効果を確認する上において、多くの気づきを与えてくれる。
2. PROGテストを継続的に実施して、①PDCAサイクルによるFD、②学生の主体的な目標達成に向けたステップづくりに繋げたい。

ご清聴ありがとうございました

高知工科大学 マネジメント学部

教育講師 酒井 良二

sakai.ryoji@kochi-tech.ac.jp